

## 令和7年度 第2回広島県生活支援体制整備における多機関合同意見交換会実施要領

### 1 目的

地域包括ケアシステムの実現に向けた、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できる地域づくり、とりわけ生活支援体制整備事業においては、そこで暮らす「生活」を支援していくことから、多様な主体が連携・協働していくことが重要となります。

本意見交換会は、実践報告等を通して多様な主体が連携・協働している事例に学ぶとともに、グループワークで意見交換を行うことにより、参加者同士の顔の見える関係づくり、ネットワーク形成促進の一助となるよう実施します。

※ 本意見交換会は、(一社)広島県介護支援専門員協会の生涯学習(研修単位認定)制度「D-3-5」に申請予定です。

### 2 対象者

生活支援コーディネーター(以下「SC」という。)、市町職員(地域包括ケア担当・防災対策担当等)、地域包括支援センター職員、市町社会福祉協議会職員、県・県保健所(支所)職員、居宅介護支援事業所職員、認知症地域支援推進員、介護施設・事業所職員、地域リハビリテーション専門職等の高齢者支援・地域福祉・防災に携わる者、民間事業者・NPO法人・社会福祉法人職員等

### 3 参加方法 職場・自宅等のPC等から、ZoomMeeting(以下「オンライン」という。)で参加

### 4 日 時 令和8年2月3日(火)13時10分～16時30分

### 5 内容及び講師(予定)

12:50	13:10	13:15	13:35	14:20	14:45	14:55	15:10	16:05	16:30
受付 開始	開会・ オリエンテーション	行政説明	実践報告	活動報告 ①②	休憩	質疑 応答	意見交換 (グループワーク)	全体 共有	閉会

## テーマ『生活支援体制整備事業・SC × 防災の多機関連携』

高齢者支援における平時の「支え合い」のネットワークは、災害時の共助や要配慮者支援体制に直結します。また、防災の取組は、災害時に顕著に表出する地域課題に取り組む上で、住民や関係者の理解を促進する1つの手段となりえます。

災害に強い地域づくりについて、それぞれの立場からの報告を聞き、多様な機関が持つ「情報」「専門性」「ネットワーク」を共有し、ともに考えましょう。

### 行政説明「広島県における防災対策の概要」

講師：広島県危機管理監危機管理課

### 実践報告「和歌山県御坊市 防災×高齢者福祉の『巻き込まれる』連携」

誰にとっても重要な「防災」を結節点にしながら、SCや認知症地域支援推進員とともにまちを知り、地域の「自助・共助」の意識向上をはじめ防災部局と福祉部局の分野横断・協働した取組を紹介いただきます。

報告者：御坊市総務部危機管理課 課長 補佐 谷口 泰之 氏  
御坊市福祉部健康長寿課 第1層SC兼認知症地域支援推進員 丸山 雅史 氏  
御坊市在宅介護支援センター藤田 管理者・第2層SC・介護支援専門員 玉置 哲也 氏

### 活動報告①「三原市 第2層協議体の防災体験会」

災害にも強い地域支え合いマップ作り、第2層協議体で福祉用具貸与事業者とともに世代間交流×防災体験会を実施するなど、防災をきっかけに、日常の気にかけてや支え合いの機運を高めるための取組を紹介いただきます。

報告者：社会福祉法人三原市社会福祉協議会 第2層SC 廣中 弥生 氏  
care design みはら 理学療法士・福祉住環境コーディネーター2級 川根 大空 氏

### 活動報告②「広島市江波 町内会・専門職と取り組む防災～平時からの地域力強化～」

町内会と防災セミナー、災害時助け合いアンケートを実施し、災害対応力の強化を平時からの地域力の強化につなげる取組や、住民と福祉専門職との協働体制の構築を目指した取組を紹介いただきます。

報告者：広島市江波地域包括支援センター 地域支え合いコーディネーター(第2層SC) 上田 タ斗 氏  
社会福祉士 松尾 奈央 氏

## 意見交換（グループワーク）

※昨年度までは圏域別のグループ分けを主としていましたが、参加者の皆さまの声を受けて、圏域に関係のないグループ分けとし、様々な市町、立場の方々ミックスのグループで情報・意見交換をしていただく予定です。

意見交換テーマ 『多機関連携にまつわるアレコレ』

## 6 事前視聴 推奨動画

まだ視聴したことがない方で、生活支援体制整備事業、生活支援コーディネーターの役割や取組について理解を深めておきたい方は、次の URL より事前動画をご視聴ください。

URL : <https://www.chiikihoukatsucare.net/jiritsushien3/index.html>

## 7 注意事項

- (1) 事前に別紙「オンライン（ZoomMeeting）研修受講の注意事項」を確認の上、申し込んでください。
- (2) 受信障害の起きない静かな環境での受講をお願いします（グループワークを行いますので、カメラ・マイク機能付きの端末機器を使用し、周囲の音が入らない環境での受講をお願いします）。
- (3) 同一事業所等から、同一端末で複数名での受講も可能ですが、受講申込は各自でお願いします。また、グループワークのグループ分けの参考にしますので、研修申込フォームにその旨をご記入ください。
- (4) 意見交換会当日の Zoom 情報及び注意事項等について、開催数日前に受講申込時のメールアドレスに送信します。併せて、当日資料のダウンロード方法を通知します。
- (5) 本意見交換会では**事前の接続トライアルは実施しません**ので、申込後、当日までに当センターホームページ（各種研修情報＞研修の開催情報＞本意見交換会）に掲載の「ZoomMeeting 接続マニュアル」のご確認をお願いします。

### Zoom のセルフテスト等について（お願い）

■Zoom は次の URL で、ビデオ・スピーカー・マイクのセルフテストができます。ご使用予定の端末のビデオ・スピーカー・マイクが正常に作動するか確認を済ませてからご参加くださるようお願いします。 URL : <https://zoom.us/test>

■Zoom アプリ（クライアント）からの参加を推奨します。アプリは最新バージョンにアップデートをお願いします。

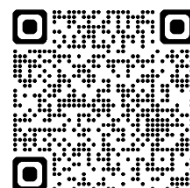
## 8 申込期間 令和7年12月15日（月）9時00分～令和8年1月20日（火）17時00分

## 9 申込方法

当センターホームページ（各種研修情報＞研修の開催情報＞本意見交換会）に掲載の「研修申込フォーム」から必要事項をご記入の上、次の(1)～(3)のことに注意してお申し込みください。

令和7年度第2回広島県生活支援体制整備における多機関連合意見交換会

URL : [https://www.chiikihoukatsucare.net/p02kensyu\\_kiji.php?id=189](https://www.chiikihoukatsucare.net/p02kensyu_kiji.php?id=189)



- (1) 研修申込フォームの送信後、申込受付のメールが自動返信されます。パソコン、スマートフォン、携帯電話の設定で迷惑メール対策としてドメイン指定受信設定をされている方は、当センタードメイ

ン「hiroshima-hm.or.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

- (2) 自動返信メールの送信先をフリーメールアドレス（Gmail/Yahoo!メール等）にされた場合は、自動返信メールがフィルタリング機能により迷惑メールフォルダ及び削除フォルダに振り分けられる可能性がありますので、ご注意ください。
- (3) 自動返信メールが届かない場合は、申込受付が完了していない可能性があります。「14 問合先」までご連絡ください。

10 受講料  
無料

11 受講決定  
研修申込フォームで受付され、自動返信メールが届いた方は受講できます。

12 個人情報の取扱い  
研修申込フォームに記載された個人情報は、この研修の実施に必要な範囲に限って利用させていただきます。

13 その他  
本研修は、一般社団法人広島県介護支援専門員協会の生涯学習（研修単位認定）制度「D-3-5」に申請予定です。介護支援専門員有資格者で、生涯学習制度の単位取得を希望する方は、研修申込フォーム「一般社団法人広島県介護支援専門員協会の生涯学習制度単位認定の申請について」の項目に必ずご入力ください。生涯学習シートは、申請希望かつ受講確認が取れた方にのみ、後日メールによって配付します。

14 問合先  
広島県地域包括ケア推進センター（担当者：石川・田中・藤原）  
〒732-0057 広島市東区二葉の里 3 丁目 2-3 広島県医師会館 4 階  
電 話：(082) 569-6493  
メールアドレス：[hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp](mailto:hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp)  
ホームページ：<https://www.chiikihokatsucare.net/>

※メールでお問い合わせの場合、件名に「R7 生活支援体制整備における多機関合同意見交換会について」と記入してください。

## オンライン研修受講の注意事項

令和7年4月

広島県地域包括ケア推進センター（以下「推進センター」という。）が行うオンライン研修は、Zoom Meeting（以下「Zoom」という。）を利用します。

### 1 端末及びネットワーク環境の準備

- (1) 研修は、パソコン又はタブレット等で受講できますが、できるだけパソコンの使用をお願いします。  
タブレットやスマートフォンは通信が切断する可能性が高い、画面共有された資料が小さく見づらい、画面に表示される人数が少なくグループワークに向かない等の理由から使用を推奨しません。  
(研修によってはマイクやカメラが必要になります。各研修実施要領で案内します。)
- (2) 最新バージョンの Zoom アプリからの参加を推奨します。  
次の URL で、Zoom アプリをダウンロード・インストールができます。ウェブブラウザや旧バージョンからの参加では、機能制限により受講が不十分となる場合がありますので、できるだけ最新バージョンの Zoom アプリから受講してください。  
URL : <https://zoom.us/download>
- (3) Zoom アプリの更新情報  
最新の更新情報は、[Zoom の公式サポートページ](#)から確認してください。最新バージョンに更新する方法は、推進センター主催研修「Zoom ミーティング接続マニュアル」に掲載しています。
- (4) Zoom アプリのシステム要件  
最新のシステム要件は、Zoom の公式サポートページ「[Zoom のシステム要件: Windows、macOS、Linux - カスタマーサポート](#)」から確認してください。
- (5) 受信状況が良好な環境で受講してください。  
インターネット環境による通信不良や通信切断、Zoom アプリの障害等により受講できない場合は、推進センターは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) 通信料は受講者の負担になります。
- (7) 受講確認が必要な研修では、1人1台のカメラ機能付きの端末機器が必要となります。  
「画面から顔が見えない」、「移動しながら受講している」、「研修受講以外の行動をしながら受講している」など研修受講態度に不適切と思われる行動が見られた場合には、受講者に改善を求めます。行動に改善が見られない場合は、研修修了とは認められないことがありますので、予めご了承ください。
- (8) グループワークを行う場合は、マイク及びカメラ機能付きの端末機器が必要となります。  
1人1台の端末機器による視聴か同一端末で複数名視聴の可否については、各研修実施要領で案内します。

## 2 研修の妨害やプライバシーの侵害を招く恐れのある行為の禁止

- (1) 第三者との「招待メール」の URL の共有や貸与、SNS を含む他の媒体への転載、また研修の教材を受講目的以外で使用することは、不法行為や著作権の侵害になりますので固くお断りいたします。
- (2) 録音、写真撮影、動画撮影、画面キャプチャーは固くお断りします。

## 3 その他

研修内容の向上や後日再配信等を目的に、研修内容を録画することがありますので、予めご了承ください。

講師及び受講者の氏名や映像が画面に映し出されることがありますので、予めご了承ください。

- (1) 研修資料は、各自、ホームページ等各研修で案内する方法からダウンロードして準備してください。研修によっては、ページ数や冊数が多くなることもあります。

- (2) Zoom のセルフテストについて（お願い）

Zoom は次の URL もしくは Zoom アプリの設定で、ビデオ・スピーカー・マイクのセルフテストができます。研修の参加までに、ビデオやスピーカー・マイクが正常に作動するかどうか確認を済ませておいてください。

URL : <https://zoom.us/test>

- (3) 不明な点は、推進センターまで連絡してください。

問合先 広島県地域包括ケア推進センター

電話 (082) 569-6493 E-Mail : [hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp](mailto:hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp)